

## 学校 実践例 1

# 授業改善や家庭との連携により、学ぶ喜びを実感させる取組

提言①⑤

## 学校の特徴

### 学校の規模

- 小学校 15学級
- 児童数 約380名

### 本事例の特徴

「授業づくりのチェック表」、「学習のきまり」などを用いた授業改善や家庭との連携による生活習慣の確立に取り組むことにより、児童に学ぶ喜びを実感させるよう努めています。

## 実践のポイント

### 学力向上にかかわる学校経営推進上の重点

#### 教育課程の工夫改善

- 指導計画の改善、授業力向上に向けた教育課程の創造と展開
- 授業以外の学習時間の確保

#### 授業改善

- 日常における学習指導の見直し・改善（授業づくりのためのチェック表作成）
- 学年別学習のきまり、話し方・聞き方のモデルについての指導の徹底

#### 校内研修の充実

- 新学習指導要領に則ったモデル授業（国語、算数、総合的な学習の時間、外国語活動）の実施

#### 指導体制の工夫

- 少人数指導（TT）による効果的な指導の実施
- 地域人材・施設、専門家等を活用した体験活動の推進

#### 家庭との連携

- 「早寝、早起き、朝ごはん」の確立等、基本的な生活習慣について家庭と連携した取組

#### 学校改善プランの改善

- 確かな学力向上プランの作成と検証・改善システムの確立

## 学校の声

- すべての教職員が、授業づくりのためのチェック表や「学習のきまり」を活用し、授業を改善したり、学習のきまりを身に付けさせたりすることにより、学校全体の授業の質が向上し、子どもが一層落ち着いて学習するようになるなど、教育効果が高まっています。学校が組織体として一丸となって取り組む大切さを実感しています。
- PTAと連携を図り作成したリーフレットを活用することにより、家庭と学校のつながりが深まったように思います。「連携」や「共通理解」を唱えるだけでなく、保護者と学校が共同で作成した「具体物」を媒介として、それぞれが生活習慣について同様の認識をもちながら取組を進めることも大切であると考えています。

- 「授業づくりのためのチェック表」に基づき、全教職員が授業改善に取り組んでいます。

授業づくりのためのチェック表		
(ABCで評価してみましょう。)		
項目	観 点	評 価
学習常規	① 学びを深めるために、話の聞き方、発表の仕方、質問の仕方など、計画的な学習規律の指導をしている。	
授業準備	① 学習指導要領やその他の資料を活用し、十分に教材研究を行っている。 ② 授業に必要な教具、資料等を適切に準備している。	
説明度	① 子どもが理解できる言葉、速さで話し、内容が明瞭でわかりやすい。 ② 子どもが楽しく参加しやすくなるような態度で話している。 ③ 子どもの発言などを受容的に受け止め、褒めるなど、子どものよさを引き出している。	
指示発問	① 子どもの学習状況に応じて、具体的で明確な指示をしている。 ② 「なぜ?」「どう考える?」など、子どもの思考を促す発問をしている。	
板 書	① 導入、展開、整理など、子どもの思考過程に沿った構造的な板書になっている。 ② ノート指導と関連させた板書となるように留意している。	
学び合い	① 自分の考えを明らかにする自己解決の時間を確保している。 ② 子どもが考えを相互に高め合うための工夫をしている。 ③ 各自の役割が明確になり、話し合いの目的や方向性が理解されるよう留意している。	
導 入	① 学習のめあてを子どもが理解している。	

- 本校では、授業づくりの観点を明確にし、すべての教員が「授業の基本」を常に意識しながら授業改善に取り組んでいます。
- このことにより、教員の指導力の向上が図られ、児童にとって分かる楽しい授業が展開できます。



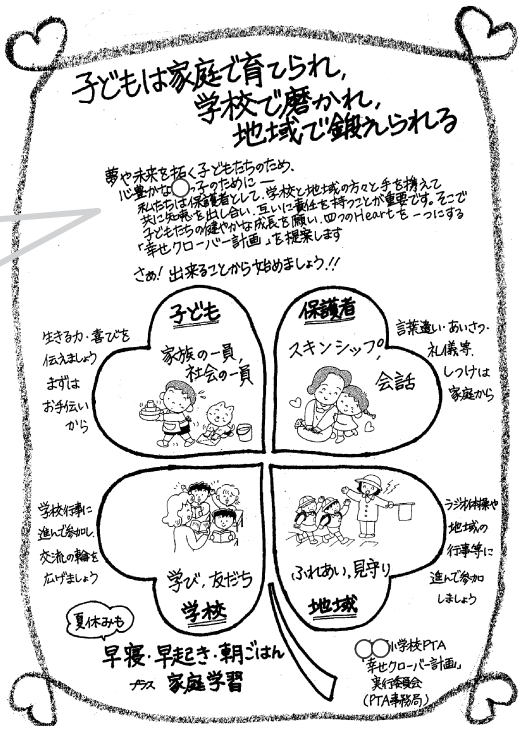
- 学習規律として児童に身に付けさせたいことを学年に応じてまとめた「学習のきまり」を基に、継続して指導をしています。

生活習慣の確立

- PTAが作成したリーフレットの活用による「早寝、早起き、朝ごはん」などの基本的な生活習慣の確立等について家庭と連携して取り組んでいます。

夢や未来を拓く子どもたちのため、  
心豊かな〇子のために—  
私たちは保護者として、学校と地域の方々と手を携えて、  
共に知恵を出し合い、互いに責任を持つことが重要です。そこで  
子どもたちの健やかな成長を願い、四つのHeartを一つにする  
「幸せクローバー計画」を提案します  
さあ! 出来ることから始めましょう!!

- 本校では、生活習慣の確立の必要性について継続して情報発信し、保護者との共通理解を深めることにより、PTAが主体的に啓発活動に取り組むようになりました。
- 学習習慣の確立を図る取組についても家庭と一層連携して取り組むことができるようになっていきます。



## 学校の特徴

### 学校の規模

- 小学校 15学級
- 児童数 約250名

### 本事例の特徴

各教科等と総合的な学習の時間の関連を明確にした教育課程の工夫改善や児童の学習の実態を踏まえた複数教員による指導方法・指導体制の工夫改善に取り組むことにより、基礎・基本の確実な定着を図っています。

## 実践のポイント

### 学力向上にかかわる学校経営推進上の重点

#### 教育課程の工夫改善

- 各教科等との関連を図った総合的な学習の時間の指導の充実に向けた「学ぶ力育成の構造図」の作成

#### 指導方法・指導体制の工夫改善

- 指導方法工夫改善担当者や理科支援員配置事業、外部人材を活用した多様な指導方法・指導体制の工夫改善

#### 校内研修の充実

- 算数科の指導改善に向けた協働体制による指導案作成や授業交流、公開研究会の開催等による実践的な研究の推進

#### 学習指導の充実

- 教員の協働による授業づくり
- 「〇〇小っ子の学び方」を活用した問題解決的な学習の充実

#### 家庭との連携

- 「家庭学習の手引き」を活用した家庭との連携による家庭学習の習慣化

#### 心の教育の充実

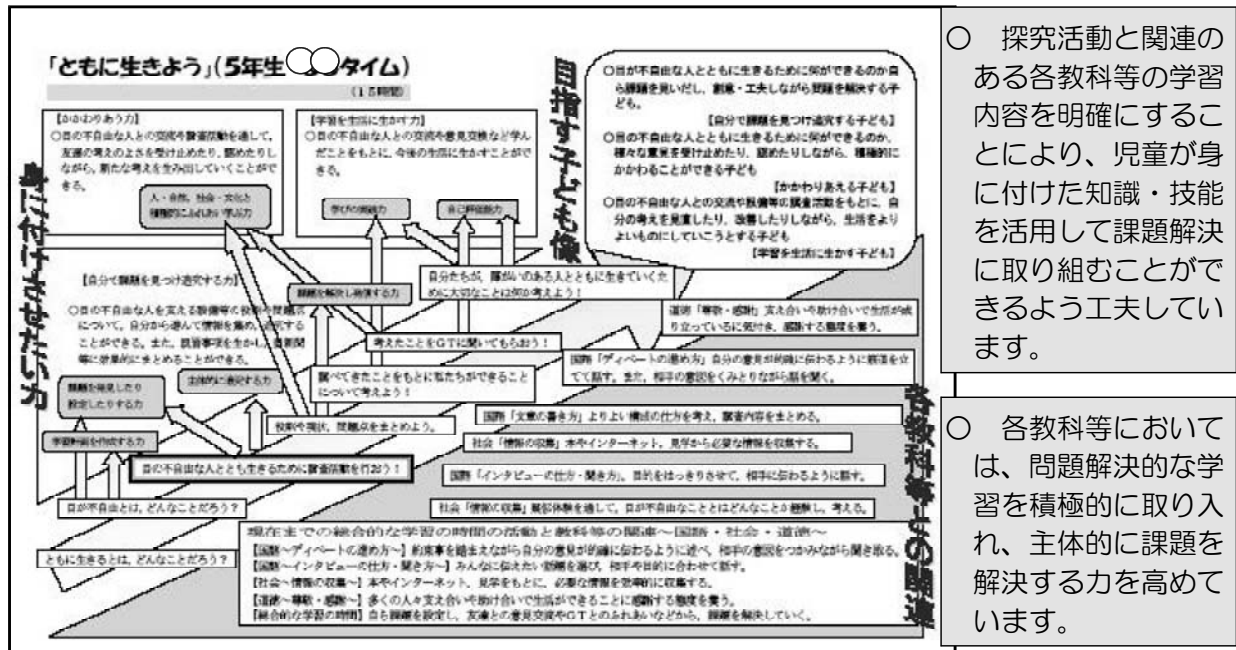
- 思いやりの心や協力しながら物事を進めようとする態度など、学力の向上の基盤となる道徳性を高める学級づくりや道徳の時間の指導の充実

## 学校の声

- 問題解決的な学習を基盤とした指導過程である『〇〇小っ子の学び方』を明らかにし、子どもに示すことにより、見通しをもって学習に取り組む子どもが増えてきました。すべての教師や子どもが共通の学び方で学習を進めることで学習効果は高まっています。
- 教科で学習したことを総合的な学習の時間で生かすなど、両者が相互補完的に機能するよう指導計画を作成することにより、一層効率的な学習指導が展開されてきています。学力向上の鍵を握るのは総合的な学習の時間の充実にあると感じているところです。

## 教育課程の工夫改善

- 本校では、総合的な学習の時間と各教科等との関連を明確にした「学ぶ力育成の構造図」を作成しています。



○ 探究活動と関連のある各教科等の学習内容を明確にすることにより、児童が身に付けた知識・技能を活用して課題解決に取り組むことができるよう工夫しています。

○ 各教科等においては、問題解決的な学習を積極的に取り入れ、主体的に課題を解決する力を高めています。

## 指導方法・指導体制の工夫改善

- 本校では、学習内容や児童の実態に応じた指導方法・指導体制の工夫改善に努めています。指導に当たっては、「計画→授業展開→反省」の一連の授業づくりを協働体制で進めています。

実施の1か月前	○ 案（分担して担当）を基に、学年で指導計画づくりを行う。 ・教材研究の内容、予想される子どもの反応などを出し合い、指導計画を修正する。
実施の1週間前	○ TT等がかかわる教師と打合せを行う。 ・学習内容や児童の学習状況を踏まえ、効果的な指導方法を検討する。 例) 特定の児童につまずきが見られる場合 →一斉指導の中で、T2が個別に児童にかかわる。 例) 児童の多様な考えを生かしたい場合 →複数の教師によるコースを設定し、児童が選択できるようにする。
授業	○ 指導計画に基づき授業を行う。 ・児童の学習状況をきめ細かく把握し、その都度指導の改善に生かす。(可能な限り互いの授業参観を行う)
授業後	○ 児童の学習状況に基づき、指導計画の改善点を明確にする。 ・発問や板書などの具体的な視点で改善点を交流する。

## 学校 実践例 3

# 学習指導の工夫改善や家庭学習への支援により、主体的に学ぶ意欲の向上を図った取組

提言①②

## 学校の特徴

### 学校の規模

- 小学校 14学級
- 児童数 約320名

### 本事例の特徴

指導内容の明確化や系統性を踏まえた指導など、学習指導の工夫改善や発達の段階に応じた学習プリントの提示など、家庭学習への支援に取り組むことにより、主体的に学ぶ意欲の向上を図っています。

## 実践のポイント

### 学力向上にかかわる学校経営推進上の重点

#### 学習指導の工夫改善

- 指導内容の明確化と指導内容に応じた指導の工夫
- 6年間を見通した系統的な指導

#### 指導体制の工夫改善

- 算数科におけるチーム・ティーチングの実施
- 習熟の程度など個に応じた指導の充実

#### 校内研修の充実

- 調査結果の分析と児童の実態把握
- 問題解決的な学習や言語活動の充実

#### 組織・分掌の工夫

- 「研究推進委員会」の設置による授業の評価・検証

#### 家庭学習への支援

- 児童の学習状況を踏まえた家庭学習課題の提示
- 「自学ノート」など、家庭での学習習慣の定着に向けた取組

#### 言語活動の充実

- 各教科等の特質に応じた言語活動の充実
- 学校生活全体における言語環境の整備

## 学校の声


- すべての教員が、すべての学年の「身に付けさせたい言語能力」を整理し、共通理解を図ることにより、これまで以上に学年間の関連などの系統性を意識した指導に努めています。今後も、すべての教育活動を長いスパンでとらえ系統的、計画的に子どもを育てていきたいと考えています。
- 家庭学習の効果を上げるキーワードは、「授業との関連」、「発達段階」、「教師のコメント」です。今後も、教職員のアイデアを生かしながら、学校全体で計画的に取り組み、子どもが進んで家庭学習に取り組めるよう努めます。

## 学習指導の工夫改善

- 国語科の指導において、身に付けさせたい言語能力を明確にするとともに、6年間を見通した系統的な指導に取り組んでいます。

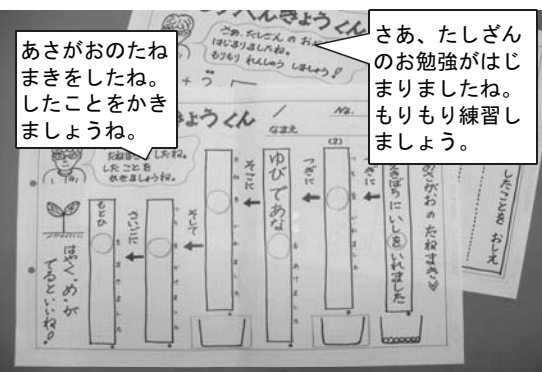
「C 読むこと」の指導事項と学習指導のポイント			
	低学年	中学年	高学年
指導事項	場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げて読むこと。	場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて	登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の
指導のポイント	物語の展開に即して読む各場面の様子の変化したり中心となる登場人物の行動が変化したりしていくことを把握	物語や詩の描写を想像を働かせながら読む登場人物の性格や境遇、状況を把握する行動、会話など	登場人物の稍首関係から人物像やその役割をとらえる登場人物の行動や会話、情景などを通して暗示的に
言語活動	本を選んで読み、好きなどころを紹介する	物語を読んだ感想を友達と比べる	本を選んで読み、推薦の文章を書く。

○ 指導事項を指導するためにふさわしい言語活動を系統的性を踏まえて位置付けています。



## 家庭学習への支援

- 家庭での学習習慣の定着を目指して、学年の発達段階や児童の実態に考慮し、低学年は国語、算数の学習プリントや音読練習、高学年はそれぞれの課題意識に基づく「自学」を中心とした家庭学習に継続的に取り組むことができるように工夫しています。

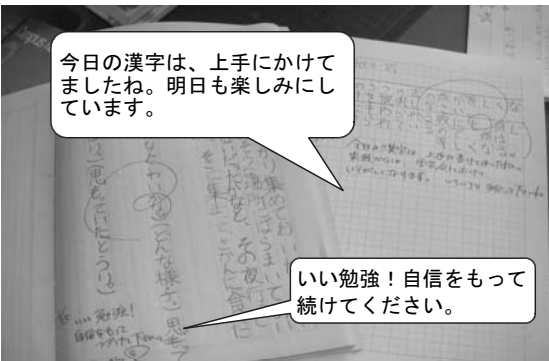


「自作の学習プリント（低学年）」

あさがおのたねまきをしたね。したことをかきましようね。

さあ、たしざんのお勉強がはじまりましたね。もりもり練習しましょう。

高学年は、学校での授業を振り返り、確認したいことや深めたいことなど、自分で課題を設定し、家庭学習に取り組んでいます。教師は、児童のよさや努力を評価し、学習意欲を高めるコメントを記入しています。



今日の漢字は、上手にかけましたね。明日も楽しみにしています。

いい勉強！自信をもって続けてください。

「自学ノート（高学年）」